

# ホウレン草



(10アール当り)

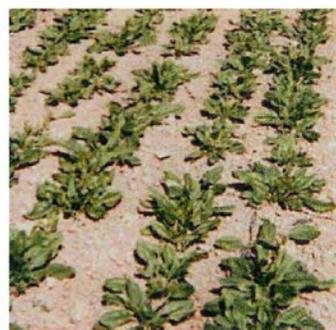
時期	方法	資材と施用法
土作り	なるべく早い時期に	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラクトバチルス600g →排水よく、肥沃な土を作り、根張りを深くする。</li> <li>●堆肥500kg以上</li> <li>●硫安80~100kg ※もし通常の複合肥料なら、チッソ成分20kg程度。</li> </ul>
整地時	整地時に全面散布	<ul style="list-style-type: none"> <li>●畑の大将&lt;青&gt; 40~60kg ※必ず土壌pH6.5~7.0となるように調整する。 特に酸性のはげしい土壌pHを中和する場合は、土作り時にカルシウムを投入する事。 硝酸態チッソの生成によって土壌が酸性化する例も多いので注意する。</li> <li>●マンゾク粒状30kg~50kg →生長促進、株腐れ、立枯れ、疫、萎黄病の対策。 ※もし特に速く生長させたい場合は、硫安20kgを追加する。</li> </ul>
播種時	播種後の灌水の時に	<ul style="list-style-type: none"> <li>●根っ酵素500倍液 →初期の根張り促進、土壌病害対策</li> </ul>
生育途中	葉面散布	<ul style="list-style-type: none"> <li>●根っ酵素500倍液を葉面散布 →根・生長の促進。 生育を強くするには、特に前半は根の力をつけることが大事 7日間隔で3回散布する。 ※特に生長が弱い場合、株腐れ・立枯れ等が心配なら灌水施用で、原液3~10リットルを(300倍前後)。</li> <li>●アミノ酸液500倍を葉面散布 (チッソ補給)チッソなどの肥料成分を効かせる時に。</li> <li>●花咲くCa液500倍 →生育を引締め、葉の病害対策。 ※チッソ過多の時や、葉を厚くしたい時は、カルシウムを葉面散布する。</li> </ul>
仕上げ	収穫前7~3日、葉面散布	<ul style="list-style-type: none"> <li>●花咲くCa液500倍 →葉を厚く充実させ、旨味が増し、品質が向上する。</li> </ul>



(左)慣行農法 (右)YS農法:萎れにくいのが特長



慣行農法



畑の大将<青>施用